



平成 18 年 6 月 6 日

各 位

会 社 名 エス・バイ・エル株式会社
代表者名 取締役社長 渡瀬 淳一
(コード番号 1919 東証・大証第 1 部)
問合せ先 取締役管理本部長 澤井 幹人
T E L 0 6 (6 3 1 5) 1 1 3 1

(訂正・数値データ訂正あり) 平成 1 8 年 3 月 期 決算短信 (連結) の一部訂正について

平成 18 年 5 月 19 日発表した、表記開示資料について訂正(「連結キャッシュ・フロー計算書」の「連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額」数値の記載箇所訂正によるもの)がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信いたします。

記

【訂正内容】(訂正箇所には下線を付しております。)

- [1] 平成18年3月期 決算短信 (連結) の表紙
(3) 連結キャッシュ・フローの状況
投資活動によるキャッシュ・フロー

	〈訂正前〉	〈訂正後〉
	投資活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー
	百万円	百万円
18年 3月期	<u>△ 187</u>	<u>△ 374</u>

- [2] 3. 経営成績及び財政状態
[2] 財政状態 (7 頁)
(投資活動によるキャッシュ・フロー)

〈訂正前〉

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、△1億8千7百万円(前期は71億7千1百万円)となりました。これは主に、子会社株式売却による収入5億4千9百万円があったものの、有形固定資産の取得8億8百万円、投資有価証券の取得2億2千9百万円があったことによるものであります。

〈訂正後〉

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、△3億7千4百万円(前期は71億7千1百万円)となりました。これは主に、子会社株式売却による収入3億6千2百万円があったものの、有形固定資産の取得8億8百万円、投資有価証券の取得2億2千9百万円があったことによるものであります。

[3] 4. 連結財務諸表等

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 (15 頁～17 頁)

当連結会計年度 (自 平成 17 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 3 月 31 日)

〈訂正前〉		〈訂正後〉	
	当連結会計年度 (自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)		当連結会計年度 (自平成 17 年 4 月 1 日 至平成 18 年 3 月 31 日)
(16 頁) II 投資活動によるキャッシュ・フロー 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	<u>549</u>	(16 頁) II 投資活動によるキャッシュ・フロー 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	<u>362</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△187</u>	投資活動によるキャッシュ・フロー	<u>△374</u>
(17 頁) V 現金及び現金同等物の増減額	<u>8,111</u>	(17 頁) V 現金及び現金同等物の増減額	<u>7,924</u>
VII 連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	<u>△186</u>	<u>(区分を削除)</u>	
VIII 現金及び現金同等物の期末残高	15,642	VII 現金及び現金同等物の期末残高	15,642

以 上